

7/26~28 新上五島町と合同キャンプ



姉妹町村連携をしている長崎県新上五島町と本村の子ども会の合同キャンプが行われました。この合同キャンプは、隔年ごとにお互いの町村を訪問してキャンプを行っているもので、今回は新上五島町で行われました。村内からは35人の小学生が参加し、新上五島町の小中学生15人と海水浴やシーカヤック、魚釣りといった体験活動を通じて交流を行いました。

また、当日は県立高森高等学校の生徒がボランティアとして参加し、子どもたちの活動を支援いただきました。

8/5・19 B&G水辺の安全教室
～プールdeカヌー体験～



B&G海洋センタープールにおいて水辺の安全教室が開催されました。この教室は海や川などでの楽しい遊びが悲しい事故につながらないように、ライフジャケットの重要性や、自分の命は自分で守る「セルフレスキュー」について学ぶために実施されています。その後、カヌーやSUP（スタンドアップパドルボード）などを浮かべて体験を行い、夏休みの素敵な思い出を作っていました。

来年も開催予定ですので、たくさんの参加者をお待ちしております。

8/10・11 KIOKU開館1周年



熊本地震震災ミュージアムKIOKUにて、開館1年イベント「熊本地震の記憶を語り継ぐ」が開催されました。今回のイベントは開館1年の節目に改めて熊本地震の記憶・経験・教訓を確実に後世に伝承し、防災・減災への対応力の強化を図るために行われています。

10日に行われた座談会では、KIOKUの統括ディレクターである久保亮之さん（下野）をファシリテーターとして、橋本艶子さん（黒川）、広瀬顕美さん（乙ヶ瀬）、野木



和行さん（乙ヶ瀬）の3人の語り部ガイドが震災体験などを通して話されました。

また、普段は一般入場できない震災遺構の村アプリ「みなみあそポケット」を使ったAR体験も行われました。

防災士の柳原志保さんによる2日間のワークショップや、11日にはNHKアナウンサーの山口勝さんと熊本大学の竹内裕希子教授による基調講演、芝生広場でのマルシェなどのイベントが行われ、多くの人で賑わいました。